研究者や技術者が地域の問題と向き合い、実践的に解決していくにはどうしたらいいのでしょうか。近年関心が高まっているテーマということで、本研究会のほかにもたくさんの試みがおこなわれています。そんな中、私たち、市民共創知研究会のメンバーが大切にしているのは、結論が出るまで熟考したり、足並みをそろえることを過度に意識するのではなく、「できるところからやってみる」という姿勢です。

この第2回研究会自体も、「さらなる共創の場をつくりたい」という第1回参加者の情熱からデザインされています。問題解決の方法論や、意思決定支援といったテクノロジーでまちを活性化しようとしている研究者、市や地元関係者との密な関係を模索している島おこし協働隊の方、Web技術で研究会の魅力を発信する学生の面々。いろいろな方が「共創が生まれる最高の3日間を」という目標のもと、持っているものを惜しみなくつぎ込んでプログラムしてきました。

そんな場に欠かせないのは、まちのことを真剣に考え、何かできないかと思っているみなさんです。特別な技術や資格がなくても、まちに対してできることはたくさんあります。この機会にまちに対してはたらきかけるきっかけをつかんでいただければ幸いです。

実行委員一同、みなさんと対馬で会えることを楽しみにしております。

第2回研究会　実行委員長　池田　晃一(岡村製作所)